



為石小学校の合言葉 「ためし 最高! ~地元で学び 地元を活かし 地元とともに行動する子ども~」



○楽しく めあてをもって しっかり学ぶ
○正しく めあてを しっかり守る
○たくましく めあてに向かって しっかり鍛える

学校だより



ためし



令和7年4月21日号 文責 上久木田 雄二

身に付けたい力



キャリア形成と授業改善を目指すSDGsの視点を踏まえた資質・能力
テーマ「一人残らず学ぶ権利・機会を保障する」
~一人も独りにしない学びの実現のために~

ためし 最高!
~地元で学び 地元を活かし
地元とともに行動する子ども~



学校生活の中で取り入れる
持続可能な社会づくりの柱
Ⅰ 多様性(いろいろある)
Ⅱ 相互性(関わり合って)
Ⅲ 有限性(限りがある)
Ⅳ 公平性(一人一人大切に)
Ⅴ 連携性(力を合わせて)
Ⅵ 責任性(責任をもって)



為石小学校が目指す子ども像		
「たのしくめあてをもってしっかり学ぶ たたくましくめあてをしっかりと守る たたくましくめあてに向かってしっかり鍛える」		
生きて働く力	概念的な知識	地元のよさや地元の人々の思いを理解することができる。
	活用可能な技能	地元に昔からあるものを大切に扱ったり、地元のためにできることを実践したりする。
	探究的な学習のよさの理解	地元を大切にしたいという自分たちの思いの変容は、地元のよさや人々の思いについて探究的に学んだことによる成果であると気付く。
探究する力	課題の設定	課題を選んだり、見付けたりする。 解決方法や手順を考え、見通しを持つ。
	情報の収集	自分たちの身近なところから課題にあった情報を集めている。 課題の解決に向け、目的意識をもって意欲的に取り組んでいる。
	整理・分析	自分と異なる意見や考えがあることに気付き、探究活動に取り組んでいる。 調べた事柄を比較したり、関連付けたりする。
	まとめ・表現	調べたことや分かったことを相手に伝わりやすく表現している。 自分と地元のつながりに気付き、自分にできることを考えている。
	自己理解・他者理解・将来展望	異なる意見や他者の意見を受け入れて尊重しようとする。
かかわる力	主体性・協働性	自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究に取り組もうとしている。

上の表は、学校運営協議会で共有された「子どもたちに身に付けさせたい資質・能力」の一覧表です。

変化の激しい、予測困難な時代を乗り切るために必要と考えられる力を、為石の子どもたちの実態を踏まえてまとめたものです。

長い目で見たら、子どもたちのキャリア形成を見据えていますし、私たち教師は、日々の授業改善に活かす視点と考えています。

加えて持続可能な世の中を創造していく上でも、SDGsの観点も欠かせないと思っています。

家庭でも・地元でも、「生きて働く力」「探究する力」「かかわる力」をキーワードにして、子どもたちに声かけをしていただくことが大切だと考えています。

また、子どもたちの様子が、3つの力を踏まえた姿になっているかどうかを見極めていただくと良いかと思っています。

HPはこちら



二次元コード読み取り 「カラー版は、ホームページでご覧いただけます。」

